

平成28年度事業計画書

I. 研究発表会、講演会等の開催

1. 第31回国際心理学会議（ICP2016）／日本心理学会第80回大会

期日：平成28年 7月24日（日）—29日（金）

会場：パシフィコ横浜

大会会長：繁樹算男（帝京大学教授）

2. 公開シンポジウム

（1）“社会のための心理学” シリーズ

（a）紛争問題を考える＜全2回＞

第1回 政治学・心理学・メディア研究からみた東アジアの国際関係

期日：8月6日（土）

会場：神戸大学六甲台キャンパス 六甲台講堂

第2回 集団間紛争の諸相

期日・会場未定（東京予定）

（b）医療における心理学の広がりを考えるⅡ＜全2回＞

第1回 期日：11月 3日（木）

会場：九州大学西新プラザ

第2回 期日：11月26日（木）

会場：東洋大学白山キャンパス

（c）裁判員の判断を左右するもの＜全2回（北海道・東京）＞

（d）超高齢社会のコミュニケーション（仮題）＜全2回＞

第1回 期日：10月22日（土）

会場：東京

第2回 期日：11月 5日（土）

会場：関西

（2）“科学としての心理学” シリーズ

（a）常識を超える心理学・なぞる心理学Ⅱ＜全2回＞

第1回 期日：9月 4日（日）

会場：京都女子大学

第2回 期日：11月12日（土）

会場：東京

（b）五感の不思議を探るⅡ：見る・聴く・触れるを科学する

自分の顔を探せ！—鏡が映す顔，心が映す顔—

（中学生・高校生のための心理学ワークショップ）＜全1回（ICP2016時）・横浜市共催＞

期日：7月24日（日）

（c）アニメの心理学Ⅱ（仮題）＜全2回＞

（3）高校生のための心理学講座

全国14か所（北海道，東北，関東Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ，中部Ⅰ・Ⅱ，関西Ⅰ・Ⅱ，

中国・四国Ⅰ・Ⅱ，九州・沖縄Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）

3. ICP2016／第80回大会時日本心理学会企画シンポジウム等

（1）“調和の中の多様性” シンポジウム（Diversity in Harmony Symposia）

（a）災害防止と緩和（Disaster Prevention and Mitigation）

（b）認知神経科学の新しい地平（New Horizons in Cognitive Neuroscience: Face-to-face）

social interactions between two individuals probed by hyperscanning, neuronal recording, and neuroendocrinological approaches)

- (c) 心理学の進化的展望 (Evolutionary Perspectives in Psychology)
 - (d) 法律と心理学 (Psychology and Law in Japan: From the Lab to Applied Knowledge in the Criminal Justice System)
 - (e) ICTとメディア芸術の心理学的研究 (Psychology and Media Technology)
- (2) 公開講座 (Public Lectures)
- (a) 教室での学習の多様性と日本における心理学の役割：その歴史、現状、展望 (Diversity of Learning in Classroom and Role of Psychology in Japan: The History, the Present Situation, and the Prospects)
 - (b) アニメーションにおける運動はどう創造されるのか (How to Create Movement in Animation)
 - (c) 犯罪捜査への心理学の応用：歴史と現状 (Investigative Psychology In Japan: It's History, Present Situation, Landscape)
 - (d) 児童虐待からの再生——児童虐待は脳の成熟にどのように影響を与えるか—— (Recovery from Child Abuse: Effects of Child Abuse on Brain Development)
 - (e) コミュニケーションの質は脳活動の同期で推測できる (Qualitative measures for communicative activities in daily life situations)
 - (f) 「見るなの禁止」について：恥の文化における深層心理学 (On the Prohibition of "Don't Look": Depth Psychology in Shame Culture)

II. 学会誌, 研究報告書及びその他の資料の刊行

1. “心理学研究” 第87巻第1号—第6号
2. “Japanese Psychological Research” Vol.58, No.2-No.4 & Vol.59, No.1
3. “心理学ワールド” 第73号—第76号
4. “心理学叢書” の刊行

III. 研究及び調査の実施

1. 大学の心理学教育に関する調査・研究
2. 社会が求める心理学教育のあり方に関する調査
3. 心理学卒業・修了者の実態調査
4. 会員及び認定心理士への調査
5. 心理学の歴史的資料の保存・調査
6. オーラルヒストリー

IV. 国内の学術団体との学術研究協力

1. 日本学術会議
2. 日本心理学諸学会連合
3. 日本脳科学関連学会連合
4. その他連合体等との研究協力

V. 国際的な学術研究協力

1. 国際心理科学連合
第31回国際心理学会議 (ICP2016)

2. 国際テスト委員会
3. 各国心理学会との研究協力
 - 英国心理学会
 - スウェーデン心理学会
 - ロシア心理学会
 - 南アフリカ心理学会
 - 韓国心理学会
 - 中国心理学会
 - 台湾心理学会
 - インドネシア心理学会
 - フィリピン心理学会
 - マレーシア心理学会
 - インド心理学会
 - アメリカ心理学会
 - オーストラリア心理学会

VI. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1. 公益社団法人日本心理学会優秀論文賞の選考・授与
2. 公益社団法人日本心理学会国際賞の選考・授与
3. 公益社団法人日本心理学会心理学ミュージアム作品賞の選考・授与
4. 研究集会等への支援
5. 国際会議参加者への旅費補助
6. 災害からの復興のための実践活動及び研究の助成

VII. 資格認定及び研修

1. 公益社団法人日本心理学会認定心理士資格の審査と授与
2. 公益社団法人日本心理学会認定心理士（心理調査）資格の審査
3. 公益社団法人日本心理学会認定心理士研修会
4. 認定心理士データベースの構築
5. 教科書等の刊行

VIII. その他目的を達成するために必要な事業

1. 心理学の普及・啓発のための広報活動
2. 倫理規程の継続的な検討・倫理問題の解決
3. 選挙の実施
 - (1) 選挙台帳作成
 - (2) 代議員・役員選挙の実施
4. 認定心理士の会
5. 若手の会
6. その他
 - (1) 学会90周年
 - (2) 部門・部会制の検討

以上